



西 区を豊かに

2016年
3月31日発行
第17号

発行者
新潟市西区自治協議会 会長 岩脇 正之
事務局
〒950-2097
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

自治協議会ってどんな会ですか？

新潟市が政令指定都市となり、自治協議会が発足してもうすぐ10年。第5期の2年目に入りますが、「自治協議会って何をしているの?」というご質問をいただくことが多くあります。そこで!自治協議会について、広報紙編集委員の城丸樹委員(新潟国際情報大学学生)が岩脇正之会長にお話を伺いました。

城丸: 地域の身近な課題は多くの分野が存在すると思うのですが、話し合いはどのように行っているのですか?

岩脇: そうですね。テーマごとに3つの部会と2つのプロジェクトチームを設置しています。それぞれの部会で課題の把握やその解決策の話し合い、勉強会、事業の運営などを行っています。(※詳細は次ページ参照)
また全体会では、部会からの報告を受けて自治協としての意見をまとめます。この「西区を豊かに」は、城丸さんの所属するプロジェクトチーム1が企画して作っているものですね。

城丸: どのような方がメンバーになっているのですか?

岩脇: 西区内のコミュニティ協議会やNPO、PTAや大学などの公共的な団体、有識者、公募で選出された方がメンバーとなっています。現在は、36名の方が委員となっています。

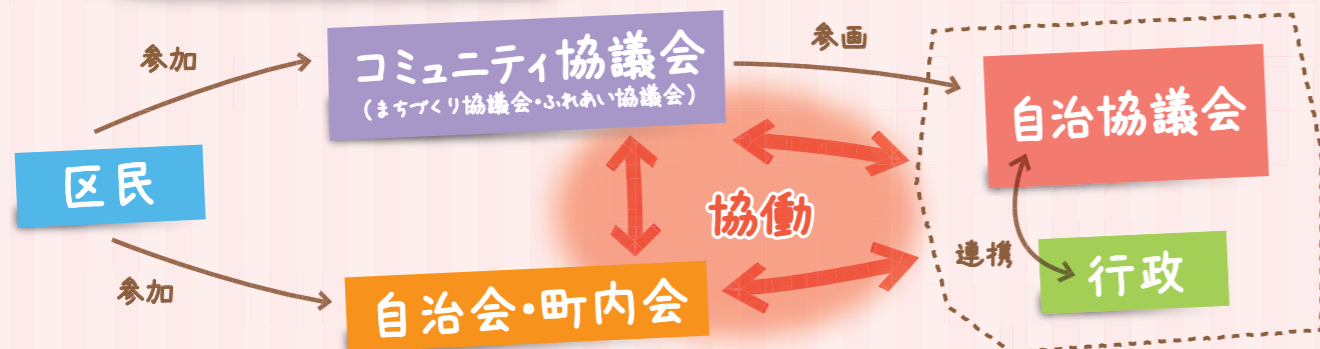


城丸: 自治協議会(以下、自治協)の役割や活動を教えてください。

岩脇: 自治協は、地域のことは地域で責任を持って考え、課題(防災・子育て支援・高齢者支援など)に対し区民と行政と一緒に課題を解決していけるよう橋渡しをしています。それから、行政から意見を求められたときに、内容を審議して意見を述べる役割もあります。

城丸: 活動するには資金が必要ですよね。お金の確保はどうされているのですか?

岩脇: 事務局である区役所が自治協議会の活動費用を持っているので、そちらを使っています。つまり皆さんの税金ですね。皆さまのお金で行う事業であるからこそ、有意義な活動にしたいと努力しています。



2017年版西区ふれあいカレンダー 掲載する写真を募集します!

前号で特集した「西区ふれあいカレンダー」、好評につき2017年版を作成することが決定しました!

そこで、カレンダーで使用する各月(1~12月)の写真を皆さんから募集します。

西区の特産品、観光地、風景、イベントの様子など、区のPRに繋がるような写真をぜひご応募ください。

- ◆募集期間 平成28年4月18日(月)から6月20日(月)
- ◆応募規定 4月18日以降に発行されるチラシまたは西区ホームページでご確認ください。チラシ配布場所: 西区役所、各出張所、各公民館ほか



2016年版カレンダー



- ・タイトル 海は広いなあ~
- ・一言コメント ある日の角田浜。優しい親子の会話が聞こえてきそうです。
- ・氏名 志賀信正

新春お年玉付きクロスワードパズル

答え じちきようぎかい

皆さまから318通のご応募をいただきありがとうございました。いただいた広報紙・自治協活動への感想は、双方向の広報紙編集を目指す編集委員をはじめ、自治協委員にとって励みであり、宝物となりました。
図書カード当選者20名は、2月25日の自治協議会終了後、抽選により選ばせていただきました。当選者の発表は、発送もつけてかえさせていただきます。

抽選の様子



いただいたご意見・ご感想

- ・いつも広報紙を読んでいます!とても参考になりました。
- ・毎回「とっておきの私の一枚」に癒されています。
- ・家族みんなでクロスワードパズルしました!!

お知らせ

第18号(H28年度)より「西区を豊かに」はファイルにも綴じやすい左綴じに変わります!

編集後記
広報紙制作を始めて1年が経過しました。振り返ると、最初はどのように自治協議会の活動をPRしていけばいいのか日々模索していました。第17号は私たちが考え続けてきた「魅力のある広報紙」に近づいてきたと思います。さらに魅力的な広報紙を区民の皆様に向けていけるよう様々な改善を今後も行います。パワーアップした自治協議会広報紙にご期待ください!! (城丸 樹)



パソコン・スマートフォンでもご覧になれます!
Web版 西区を豊かに
(西区役所ホームページ内)

募集 しています

広報紙や自治協議会活動についてのご意見
◆送付先/住所 氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。
とっておきの私の一枚
◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。(電子メール可) ◆採用者には千円の図書カードを贈呈。 ◆応募された写真は返却しません。 ◆締め切り5月末日(次号掲載予定)。 ◆送付先/広報紙1面の「事務局」あて。

第1部会

笠原哲男 部会長

第2部会

郷扶二子 部会長

Q1 1年を通して、部会
でどのようなことを話
し合ってきたのか教えてく
ださい。

また、今後の課題があればそ
れも教えてください。

A1 主に、防犯や防災に
関する内容について話
し合ってきました。それから飛
砂についても話をしてくいま
した。その他にもいろいろなこ
とを議論してきました。

今後の課題ですが、この冬に
話をした私道の除雪に関するこ
とを引き続き考えていきたいと
思っています。



防災に関する公開授業



Q2 部会での話し合い
の結果、自治協提案
事業につながったものはあり
ますか。

A2 前期で話をしていた
ことですが、小・中学
生向けの「防災に関する公開授
業」です。昨年11月30日に五十
嵐中1年生・五十嵐小と真砂小
の5・6年生を対象に行いまし
た。地域の方からもご参加いた
だいて好評でした。



第3部会

（農林水産業・商工業・交通）

塩川英男 部会長

Q1 農業や商業といった
地域課題は、西区を活
気つける中で重要だと思いま
すが、部会ではどのような話し
合いがされましたか。

A1 特区を含む西区の農
業や西区拠点商業活
性化計画について、委員で勉強を
しました。今後も検討を続けて
いく必要があると思います。

Q2 西区ふれあいカレン
ダーが好評ですが、ど
のような思いで制作したのか教
えてください。

A2 西区の特産物やイ
ベントなどをアピールし
たいという思いで作りました。
特産物や観光地の写真を使っ
たカレンダーでのPRは、広報
紙以外の方法では一番良いと思
います。

Q3 2017年版のカレ
ンダーを作ることが決
まったようですが、区民の皆さ
んにぜひPRをお願いします。

A3 2017年版は写真
を募集するほか、広く



西区ふれあいカレンダー
表紙

ご意見も聞かせていただきたく
と思いますので、よろしくお願
いします。

プロジェクトチーム1 大谷一男 部会長

Q1 広報紙を作るにあ
たって苦労もあるか
と思いますが、広報の役割とはな
らぬでしょうか。

A1 一言でいうと、自治
協の運営や事業につ
いて正しく理解してもらうための
活動であると思っています。同
時に区民から寄せられた意見も
取り入れながら、紙面に反映す
るよう努めています。次号から
は右綴じから左綴じに変更しま
すが、これも区民の意見による
ものです。

西区自治協議会

ってこんな会! ~1年を振り返って~

1面では、自治協議会の基本をお伝えしましたが、こちらではより詳しい活動内容を知って
いただくため、部会長が1年を振り返りながら、自治協議会の活動について紹介します。

Q1 子育てから高齢者ま
での保健福祉や教育に
関わる内容を担当する部会とし
て、幅広く話し合っただけと思いま
すが、苦労した点はありませんか。

A1 初めての自治協委員
でも何分らない中た
くさんの分野を担当しました。
部会員の皆さんが関心のあるこ
と、自治協に対しての思いはさ
まざりありますから、何を話し
合いの中心に持っていくか、皆
さんの共通理解を図ることが難
しいと感じました。

Q2 高齢者を対象とした
講演会に、興味・関心
が寄せられていますかどのよう
に感じますか。

A2 今、社会は超高齢時
代となっています。そ
のため、高齢者に入部を当
てるのが地域課題の中で第一
に解決すべきと考えられている
のだと思います。

ただ、それとともに少子化・
子育て支援・いじめなど子ども
の問題、学校の統廃合、社会教
育施設の活用などの課題もたく
さんあります。そのひとつと
つを、自治協委員として情報を
集めて学び、自治協提案事業と
いう形で区民の皆さんと一緒に



高齢化をテーマにした講演会

Q3 自治協提案事業を通
して区民の皆さんと一
緒に地域のことを考えていくた
めに、今、お伝えしたいことは
ありますか。

A3 私たち第2部会
は、たくさん話し合
いをして、自治協提案事業を
実施しています。
講演会などのイベントが多い
ですが、イベントのひとつとい
う捉え方ではなく、地域の課題
解決につながるものであると、
広く区民の皆さんに浸透して
いくことを願っています。参加
された方は、各コミ協・団体・自
治会や町内会を通してご自身
が聞いて学んだことを広めて
いただければありがたいと思
います。



スポーツ鬼ごっこの体験

プロジェクトチーム2 永吉秀司 部会長

Q1 西区アートフェス
ティバルも3回目とな
り、西区民の満足度も高いよう
です。
来年度のフェスティバルはどの
ような思いで企画していますか。

A1 満足度が高いことは
ありがたく、皆さんの
ご支援に感謝申し上げます。
それにおごることなく、来年
度も西区で活動している表現者
の方々の紹介、発表の場とし
て、なるべく多くの区民の皆さ
んが参加できるように企画した
いと思っています。

Q2 この企画は「音楽の
力、西区の宝」をア
ーマに開催されてきましたが、一
方ではアート作品の紹介や展示
などへの期待もあるようです。
今後の展開を教えてください。

A2 これまでの音楽表現
を中心にとした企画はそ
のままに、「アート」というキ
ワードを大切にして、大学と連
携したアート表現や西区にお住
まいの方でアート表現をされて
いる方の作品紹介、小学生など
の小さな芸術家たちの作品を紹
介する場にもなるよう検討して
います。

Q3 10月の「第4回西
区アートフェスティバ
ル」開催に向けて、区民の皆さ
んにPRをお願いします。

A3 広く皆さんにご観
覧・ご参加いただだけ
ばと思います。発表の場を求め
る団体や「ぜひ参加したい」
という方は、お気軽に事務局へ
ご連絡ください。
芸術文化の力で西区を豊か
に、そして元気にしていきま
しょう!



「西区を豊かに」バックナンバー



第3回アートフェスティバル